

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【城北小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	全体的には、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図れた。朝学習の時間に取り組んだ学力アップタイムの取り組みである「スタディサプリ」等が効果的であったため次年度も継続して取り組んでいく。また、個人差が大きいことが課題であり、個別に必要な支援を講じていく必要がある。
思考・判断・表現	令和5年度に引き続き、問題の解き方や考え方がわかるようなノートの取り方や発表の仕方を丁寧に指導する。また、協働解決の場面では、ミライシード等を活用し、児童の思考を可視化したり。考えを伝え合ったり場を効果的に設定することで、思考・判断・表現の育成を図る。
主体的に学習に取り組む態度	全学年共通した課題である基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ることで、「できた・わかった」を実感させ「算数好き」を増やし、主体的に学習に取り組む態度の育成につなげていく。算数を苦手としている児童にも「できた・わかった」を実感させるために自分の力に合わせて「パワーアップタイムのレベル」や「自力解決時のヒントカード」を選んで取り組ませる等の、個に応じた指導を充実させていきたい。

① 目 標・策			
目 標		策	
知識・技能	令和4年度全国学力・学習状況調査及び令和4年度市学習状況調査の自校結果より、算数の「知識・技能(全国)」 「基礎問題(市)」において、3pt向上させる。	⇒	・基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着させるために反復学習を行う。 ・個々の児童の状態をより丁寧に把握し、ICTを活用しながら、個別最適化された学びを行う。
思考・判断・表現	令和4年度全国学力・学習状況調査及び令和4年度市学習状況調査の自校結果より、算数の「思考・判断・表現(全国)」 「数学的な見方や考え方(市)」において、3ptを向上させる。	⇒	・問題の解き方や考え方がわかるような、ノートの取り方や発表の仕方を丁寧に指導する。 ・ミライシード等を活用し、児童の思考を可視化したり、考えを伝え合ったりする場を設定する。
主体的に学習に取り組む態度	令和5年度全国学力・学習状況調査「算数の勉強は好きですか(全国・市)」において、肯定的な回答の割合を全学年において50%以上にする。	⇒	・安心して学べる居場所としての学級集団を築く。 ・個々の学びの状況を見極めて、必要に応じて個別のアプローチをしたり、全体での共有をしたりする。

<小6・中3>(4月～5月)

⑤ 目 標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	さいたま市学習状況調査において、同集団における経年比較を行ったところ、小4「R4年度46.9pt R5年度46.5pt」小5「R4年度 45.4pt R5年度47.1pt」小6「R4年度44.8pt R5年度46.2pt」と小5、小6で前年度を上回る結果だった。	B
思考・判断・表現	さいたま市学習状況調査において、同集団における経年比較を行ったところ、小4「R4年度47.1% R5年度48.2%」小5「R4年度46.5% R5年度48.6%」小6「R4年度46.9% R5年度46.7%」と小4、小5で前年度を上回る結果だった。	B
主体的に学習に取り組む態度	「算数の学習は好きですか」の質問項目において、R4年度さいたま市学習状況調査では肯定的な回答の割合は63.9%であったが、R5年度さいたま市学習状況調査では60.6%と3.3%下回った。学年別に比較すると、小3「R4年度75.8% R5年度82.4%」小4「R4年度56.5% R5年度62.3%」小5「R4年度51.8% R5年度43.0%」小6「R4年度71.6% R5年度54.8%」と半数の学年が上回った。	B

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一步)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較して、国語－2pt、算数－5ptであった。算数の「図形」領域において課題がみられた。図形の名称、性質を理解していないことが考えられる。スタディサプリ等を活用し、図形領域の繰り返し学習に取り組んでいく。
思考・判断・表現	R5年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R4年度の自校の結果と比較して、国語＋1pt、算数－5ptであった。算数では、グラフの活用に関し課題が見られた。算数の学習だけでなく、場面に応じて最適なグラフを選ぶように、教科横断的にグラフにまとめる場面を設定していく。
主体的に学習に取り組む態度	令和5年度全国学力・学習状況調査「算数の勉強は好きですか(全国・市)」において、肯定的な回答の割合を50%で目標値を達成した。より一層、算数の学習が好きになるよう授業改善に努める。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より算数-1.1ptであった。「思考・判断・表現」において、R4年度調査より算数-1.7ptであった。市平均と比べると、算数の「数と計算」に課題があった。教科への興味関心については、「算数の勉強が好きですか」の質問項目において、肯定的な回答の割合がR5年度82.4%R4年度75.8%と昨年度を6.6%上回った。	小4	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より算数＋1.1ptであった。「思考・判断・表現」において、R4年度調査より算数＋1.7ptであった。市平均と比べると、算数の「数と計算」に課題があった。教科への興味関心については、「算数の勉強が好きですか」の質問項目において、肯定的な回答の割合がR5年度62.3%R4年度56.5%と昨年度を5.8%上回った。
小5	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より算数＋2.3ptであった。「思考・判断・表現」において、R4年度調査より算数＋1.7ptであった。市平均と比べると、算数の「数と計算」「データ活用」に課題があった。教科への興味関心については、「算数の勉強が好きですか」の質問項目において、肯定的な回答の割合がR5年度43.0%R4年度51.8%と昨年度を8.8%下回った。	小6	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」において、R4年度調査より算数＋1.1ptであった。「思考・判断・表現」において、R4年度調査より算数＋0.7ptであった。市平均と比べると、算数の「数と計算」「図形」に課題があった。教科への興味関心については、「算数の勉強が好きですか」の質問項目において、肯定的な回答の割合がR5年度54.8%R4年度71.6%と昨年度を16.8%下回った。

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)			
目 標		策	
知識・技能	さいたま市学習状況調査では、令和4年度自校結果より、算数の「基礎問題(市)」において、1pt向上させる。	⇒	朝学習においてスタディサプリ等を活用し、個々の児童の状態を把握することで、個別最適化された繰り返し学習に取り組んでいく。
思考・判断・表現	さいたま市学習状況調査では令和4年度自校結果より、算数の「数学的な見方や考え方(市)」において、1ptを向上させる。	⇒	変更なし
主体的に学習に取り組む態度	さいたま市学習状況調査では令和4年度自校結果より、生活に関する調査の「算数の勉強は好きですか」において、1ptを向上させる。	⇒	変更なし